

高校生へのセミナーを 終えて 松本 采希

福岡医療短期大学専攻科（令和6年3月修了）



専攻科の授業には、地域における口腔健康管理の専門知識と技術の修得を目的に、乳幼児期・青年期・高齢期を対象に健康教育を企画立案し、実施する科目があります。その一環として、令和6年1月23日に、専攻科9名が高大連携協定校の1つである福岡女子高等学校1・2年生600名を対象に、「今日から始めるお口美人～お口の健康の理解を深めよう」と題して100分間の講演を行いました。講演では、歯科衛生士の仕事や口腔と全身との関係、歯磨き指導、本学の魅力など、多くの情報を伝えました。

わかりやすく飽きさせない講演となるよう、前日まで先生方と放課後を利用して、スライド修正や発表練習を繰り返していました。当日はとても緊張しましたが、高校生が私たちに目や耳を傾け、質問や呼びかけに積極的に答えてくれたため、集団指導のやりがいを感じ、楽しむことができました。

高校生にとっては、歯科衛生士の魅力を知り、口腔や全身の健康について理解を深める良い機会となり、また、私たち専攻科にとっては、健康教育の難しさややりがいを実際に体感し、歯科衛生士としてより指導力を高めることができた有意義な時間となりました。

自身のスキルアップに繋がる経験ができたことをうれしく思い、このような機会をくださった関係者の皆様に心よりお礼申し上げます。



変化に対応できる 歯科医師に 山下 良太

福岡歯科大学 学生後援会理事・評議員



私は卒後、福岡歯科大学歯周病学分野で大学院、助教と10年間お世話になりました。その後、地元久留米市で開業しています。大学時代の良き友人、先輩、後輩との出会いは、私の歯科医師人生にとってとても大事なものとなっています。学生諸君も大学での出会いを大切にし、共に勉学に励み歯科医師国家試験突破を目指して頑張ってください。

現在、学生諸君を取り巻く環境は、変化が激しい時代になっています。特にこれからはAIによる変革が待ったなしに迫ってきていますので、その変化に対応できる歯科医師を目指していくかなくてはなりません。

ダーウィンが言つたように「最も強い者が生き残るのではない、最も賢い者が残るのでない、唯一生き残るのは変化できる者」です。学生諸君はこれから時代をチャンスと捉えて、変化に対応し変化できる柔軟な考え方を持つて時代を切り開いていくください。

New Sophia
コラム

スイートアリッサム

10年ほど前の春のこと。晴れた日曜の昼近くに家を出ようとドアを開けると、玄関の横に髪の長い女性が立っています。おそらく30代後半。ジャージにサンダルという格好で、顔色が悪い。

不意に開いたドアに驚いたようだが、数日前から玄関横に飾っている寄せ植えを見ながらおずおずとこう言う。「しばらく家に引きこもっているんです。窓から外を見たらきれいな花が見えたので、久しぶりに家を出でみました。」

ボットにはスイートアリッサムの小さな白い花がこぼれんばかりに咲いていた。和名はニワナズナ (*Lobularia maritima*)。アブラナ科のこの花は甘い香りが特徴。手を掛けなくともよく咲き、控えめで愛らしい名脇役。も前列のセンターで大活躍。今朝も玄関を出ると蜂蜜のような香りが漂ってきた。匂いは記憶を呼び覚ます。あの春以来、彼女に会つたことはないが、元気に外を歩けるようになったらいいなと、思い出しました。

(内藤徹)



編集後記

新緑が美しい季節がやってきました。最近は冬と夏が長くなり、春が短くなったと言われますが、生命の息吹を感じるこの季節は気持ちを明るくしてくれます。福岡学園のキャンパスも新入生の皆さん、研修医や新規採用の職員さんなどで活気に満ち溢れています。New Sophia122号の楽しい内容をぜひお楽しみください。